

2017年 年頭にあたり

新年あけましておめでとございます。今年こそ良い年になるよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、2016年は皆様にとつてどのような年であったでしょうか？世界を俯瞰すると、北朝鮮の核・ミサイル実験、イギリスのEU離脱、米国のトランプ次期大統領等が今後の日本に大きく影響を及ぼすことでしょうか？国内ではマイナス金利導入、消費税UP延期、熊本地震等が浮かびます。医療界においては、診療報酬の実質的切り下げ、地域医療構想の作成が今後に大きく影響する事柄でしょう。

2017年はどうなるでしょうか？大局的には景気の回復は難しいでしょう。GDP世界2位を中国に譲って久しく、現在の日本のGDPは中国の3分の1であることを皆さんはご存知でしょうか？医療を生業とする私たちにとって日本の経済低迷が問題なのは、日本の医療は皆保険で成り立っているの、国が今後従来のように医療にお金がかかれなくなるからです。高齢化に伴い社会保障が必要となる人が増え、税を負担する人が減少するのであれば、その給付水準を落とさなければ維持できないのは自明の理です。同じ医療行為を行っても従来通りの診療報酬がいただけない世界になるわけです。数年来進められてきた自治体病院改革も、地域医療構想も、すべて総額の医療費をいかに削減するかにつながる考え方です。



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 理事長
松波 英寿

一方、医療機関で働く私たちは医療を生業として続けるために、あるいは自己の生活の糧を得るため、医療に携る事によって利益を生まなければなりません。国の医療費削減政策のために診療時間を短縮したり、診療内容を制限したのでは生業としては成り立ちません。したがって、国・地域が取り組む医療費削減に積極的に協力しつつ、私たちの職場に医療法人は常に利益を上げなければなりません。

私たちの蘇西厚生会は、県が認めた、地域にとつて必須の医療機関であるばかりでなく、民間であるにもかかわらず、健全経営を行っている他のお手本となる医療機関です。したがって私たちがより多く地域の医療を担当すれば、地域の総額の医療費削減に役立ち、社会貢献につながります。今の日本の社会は我々のような医療法人を求めているわけです。社会の要求に資するよう、より適切な医療を、より多くの患者さんに提供していきます。

安い・早い・うまい 国民食である牛丼は常に社会から支持されています。医療に置き換えれば、無駄な支出を行わない・利便性が高い・結果が良い医療を行うことです。今年もよろしくお願い申し上げます。



謹賀新年

本年も安全で質の高い医療・介護を
効率的かつ継続的に提供します

NEWS

第33回日本身体障がい者水泳選手権大会にて当院スタッフが3位入賞!

平成28年11月12日(土)・13日(日)に「第33回日本身体障がい者水泳選手権大会」が福岡市総合西市民プールにて開催されました。

当院から、業務部 鈴木琢人さんがバタフライ50mに出場し3位入賞しました。鈴木さんは6歳からスイミングを始め、15歳から本格的に水泳選手として活動しています。今回の目標について聞くと「今回の大会では、タイムが31秒09でした。次の大会では今回のタイムより早くゴールしたい。そのために日々の練習を頑張りたい」と話していました。



「キャリア段位認定のための介護技術養成研修」を開催。

平成28年12月10日(土)・11日(日)わかさキャリアコンシェルジュの「キャリアパス支援プログラム介護技術養成講座」を松波総合病院介護老人保健施設にて開催致しました。

講師には、貝塚ケアサービス研究所 代表 貝塚誠一郎先生をお招きし老健施設・訪問看護・介護のスタッフ約30名が受講しました。

- ・介護技術を学ぶ前に
- ・排泄介助・更衣介助の流れと注意点
～デモンストレーションの介助動作の確認～
- ・排泄介助・更衣介助実技練習
～まず自分が出来るようになる～
- ・排泄介助・更衣介助実技模擬評価練習
～評価試験の流れに沿って実践～



介護サービスの質は、個々のスタッフで異なっています。その介護サービスを一定にしてより良いサービスを提供できるように今後も日々、学んでいきます。

f 注目Facebook

「第1回 風船バレー大会」が開催されました。

今日は、リハビリテーション技術室の森島さんからの投稿です\(^o^)/

11月22日(火)15時から当院の回復期リハビリテーション病棟にて回復期リハビリスタッフ主催の入院患者様を中心とした「第1回 風船バレー大会」を開催しました!

参加総勢40名、1時間、他職種協同で水分補給など患者さんの細かい体調管理をしながら和気あいあいと、そして笑顔いっぱい盛り上がりました(^^) 入院生活、気持ちの面でも元気になってもらえるように応援します。



お知らせ

松ゼミ

(松波ナーシングスキルアップセミナー)

テーマ	病棟看護師が行う在宅移行支援
日時	平成29年1月19日(木)17時30分～18時30分
場所	社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 サウスウイング 1階 MGHホール
講師	訪問看護認定看護師 村松 美佐子

極細密画ボールペンアーティスト ～青山 桂己 世界人の一歩～

使用するペンは、0.25ミリの水性ボールペン。ボールペンの線は本来、冷静な表情をしています。作家の意のままに操られた線は、感情豊かに空間を舞います。青山桂己の世界観をお楽しみ下さい。

展示期間	平成29年1月16日(月)～3月31日(金)まで
展示場所	松波総合病院渡り廊下(北館と南館連絡通路)



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院

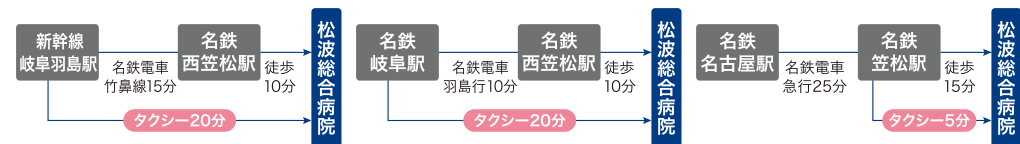
〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)
FAX 058-388-4711

http://www.matsunami-hsp.or.jp/



交通のご案内



新年、明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願いいたします



中央検査
センター長 池田 庸子



第二消化器
内科部長 伊藤 康文



第二放射線科
部長 伊原 昇



内分泌臨床研究
センター長 今井 篤志



心臓疾患
センター長 上野 勝己



副院長 春日井 敏夫



周産期医療
対策室 室長 川緒 市郎



形成外科
部長 北澤 健



循環器内科
部長 熊田 裕一



心臓血管外科
センター長 熊田 佳孝



副院長 小林 建司



呼吸器内科
部長 小牧 千人



病理診断科
部長 齊尾 征直



リウマチ
センター長 佐藤 正夫



脳神経外科
部長 澤田 元史



消化器外科
部長 柴田 直史



肛門科部長 清水 幸雄



内科部長 杉本 浩志



産婦人科
部長 高木 博



耳鼻咽喉科
部長 永井 裕之



泌尿器生殖科
部長 萩原 徳康



血液浄化・
人工透析センター長 長谷川 義和



外科部長 花立 史香



泌尿器腎臓科
部長 濱本 幸浩



消化器内視鏡
部長 早崎 直行



小児科部長 林 照恵



副院長・
診療局長 林 慎



整形外科脊椎
外科部長 日置 暁



医療管理
監視役 日置 敦巳



光学診療
センター長 樋口 正美



回復期リハビリ
テーション病棟部長 平山 宏史



整形外科
部長 福田 雅



眼科第一
部長 松波 智恵子



副院長 松波 紀行



内科部長 水上 哲秀



副院長 村山 正憲



副院長 森田 則彦



臨床検査部
部長 安田 圭吾



救急医療・集中治療
センター長 八十川 雄図

50音順

質の高い医療・介護サービスを提供し、地域へ貢献し続ける。



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 病院長
松波 和寿

新年明けましておめでとうございます。
昨年4月に病院長に就任し、早や1年が経つとしてい
ます。その間、医療を取り巻く環境は大きく変化を遂げ、
新たな取り組みを始められた施設も多かったのではない
でしょうか。国は、高齢者の増加に伴う医療費の増大に
より、医療介護の効率化を積極的に推進しようとしてい
ます。現在、岐阜医療圏の人口は約80万人で、75歳以上
高齢者の割合は約12%ですが、2025年には約18%に
まで増加し、医療介護需要のピークが訪れることが予想
されています。このため岐阜県は昨年7月、地域医療構想
を公表し2025年までの方針を示しました。その内容
を見ると、岐阜医療圏については岐阜大学医学部附属
病院（高度救命救急、ドクヘリ基地、岐阜災害拠点、がん
県拠点等）が県全体の急性期医療の中心的役割を担い、
岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、松波総合病院
が、大学病院と連携して、岐阜圏域の急性期医療の中心
的役割を担うことが明文化されています。当院といたし
ては、これら県の意向を重く受け止め、急性期病床の
機能強化を早急に進めたいと考えております。
また、岐阜医療圏では、回復期機能を持った病床が不足し
ていく事実も踏まえ、当院が保有する回復期リハビリ
テーション病棟および地域包括ケア病棟の役割について
も再考し、地域の医療機関、介護施設などとの連携を
さらに強化しながら、在宅医療の後方支援を実践してい
きたいと考えております。
連携而言えば、今後の地域連携を考える上で、私が
幼少の頃から親しんできた音楽になぞらえて将来のある
べき姿を描いてみました。
■ 今までの自己完結型医療（急性期から慢性期までは
独奏（ソロ）の時代。
■ 地域完結型医療（医療の高度化、機能分化）は
協奏（アンサンブル）の時代。
■ 地域包括ケア（多職種等のネットワーク型地域連携）は
協奏（オーケストラ）の時代。
■ まちづくり（魅力ある暮らし・生活は共創（オペラ）の時代。
松波総合病院は、常に地域の皆様とともにありたいと
願いながら地域医療に貢献をして参ります。本年もご
支援いただけますようよろしくお願いいたします。



社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
看護本部長
安江 三枝子

平成29年開始にあたって、当院は
スーパーケアミックスとして病棟編
成をしてから3年が経過しました。
国の方針である地域包括ケアシス
テムは、「時々入院、ほぼ在宅」を



社会医療法人蘇西厚生会
まつなみ健康増進クリニック クリニック長
村井 敏博

あけましておめでとうございます。
す。まつなみ健康増進クリニックは
2002年、松波総合病院の外来
部門（内科、小児科、リウマチ科、
外科、心臓血管外科、大腸肛門科、
皮膚科、形成外科）を分離・独立して



社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
介護老人保健施設 施設長
岩井 知彦

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。
介護老人保健施設は心身に障害
があり、自宅での療養が困難で、
介護を必要とされる方に「ご利用

開設して以来、地域の
先生方からのご紹介を
いただきながら、専門性
の高い外来診療を提供
すべくその歩みを進めて
参りました。近年、特に重
要視されております在宅
医療の推進に関しまして
も、生活習慣病療養指導
を充実させ重篤な合併症
の発生を予防し、がん
に罹患された方に限しては
外来化学療法法の提供に
より、可能な限り皆様方
の生活スタイルを変える
ことなく共に療養を進め

ていきたいと考え日々の
診療に取り組んでいます。
また当クリニック3階に
は、最新鋭の医療機器と
充実した健診コースを
取り揃えた人間ドックも
完備し、人工知能を搭載
したPepper君が
皆様方をお迎えいたし
ます。
今後、専門外来の
充実を推進し、連携医の
先生方と共に地域医療に
貢献していきたいと思っ
ております。本年もどうぞ
よろしくお願いいたします。

ただく施設です。当施設
では、家庭的なあたたかい
雰囲気の中、ご利用者様
が健やかで充実した生活
を送ることができるよう、
医師、看護師、介護福祉
士、リハビリテーション
スタッフなどが、それぞれの
専門性を活かして、チー
ムアプローチを実践して
います。とくに在宅復帰
を目指す方の支援に力を
入れています。
また県内では数少ない
認知症ケア加算体制を

整備し、認知症を持つ方
にも質の高いケアを提供
しています。
さらに、在宅生活支援
にも積極的に取り組むべ
く通所リハビリテーション
も併設し、当会設置のま
なみケアプランセンター
（居宅介護支援事業所）、
訪問看護ステーション・
訪問介護ステーション
とも密に連携をとりなが
ら、質の高い一貫した介護
サービスの提供に本年も
努めて参ります。